

第7回会議 第1部会論点整理表

NO.	頁	項目	小項目	該当箇所	意見	意見に対して
1	P7	基本目標1	基本政策1	施策1 1行目 妊娠・出産・育児に関する不安	基本構想(議案)と整合を図り、妊娠・出産・子育てに修正すべきではないか。	(委員) 表現は統一した方が良い。
2	P6	基本目標1	基本政策1	(現状と課題) 子育てに関する不安感	何に対する不安感なのかを具体的に明記すべきではないか。	(事務局) 子育てに関するアンケート調査では、「子育てに不安を感じている」と「なんとなく感じている」と回答した方が約40%という結果になった。 また、就学前の子どもを持つ親では、「教育に関すること」「発達・発育に関すること」「食事や栄養に関すること」「友達つきあいに関すること」に悩みを抱えているという結果になった。 小学生を持つ親では、「教育に関すること」「友達つきあいに関すること」に悩みを抱えているという結果になった。 その他として、出費がかさむことや配偶者の協力といったことが挙げられている。
3	P6 P7	基本目標1	基本政策1	全体	二世帯同居では、祖父や祖母も子育てに協力することができるが、核家族世帯は、夫婦二人で子どもを育てなければならない。 こうした現状に即した対策を行い、子育てがしやすい環境づくりを進めていく必要がある。	
4	P7	基本目標1	基本政策1	(現状と課題)	認可保育所や留守家庭児童会の待機児童の解消については、具体的に述べられている。 摂食の障害児が増えており、この課題を加えることはできないか。	
5	P6 P7	基本目標1	基本政策1	全体	重点テーマI「こども 生き生き 未来づくり」に「結婚」について述べられているが、基本政策1や施策の中には述べられていない。 人口減少対策を進めていくなら、市が男女の出会いの場を提供したり、結婚祝い金を給付するなど、力を入れていく必要があるのではないか。	(事務局) 結婚祝い金の給付はしていないが、結婚相談所が出会いの場を提供している。 (副会長) 基本構想答申の議論の中では、出会いの場は重要であるが、「結婚」についての文言を削除することで整理した。 (委員) 今年度から旭川市は「結婚サポーター」という取組を行っている。
6	P6 P7	基本目標1	基本政策1	全体	結婚して子育てをしていくためには、雇用や収入が安定していることも重要な要素である。 また、身近に子育てをサポートしてくれる人がいるなど、子育てに関する相談ができる環境づくりを進めていく必要がある。	
7	P9	基本目標1	基本政策2	施策2 7行目 動物愛護精神の向上	「施策2 衛生環境の確保と感染症の予防」の中で、「動物愛護精神の向上」について述べられていることに違和感がある。	(事務局) 動物愛護センター「あにまある」は、保健所が所管していることなどから、基本政策2の施策2で述べることにした。
8	P8	基本目標1	基本政策2	現状と課題 2行目 認知症	核家族化の進行も、認知症の要因の一つとして挙げられるのではないか。 人とのかわりが少ない人が認知症になることが多い。 隣近所との付き合いや地域でのつながりが重要である。	
9	P8 P9	基本目標1	基本政策2	全体	特に農村部では孤立している高齢者が多く、横のつながりを深めていくことが重要である。 「集団」での健康づくりから「個」の健康づくりに向かっていく方が、効果的ではないかと思う。	(副会長) ラジオ体操のような取組を広めていくことも健康づくりにつながるのではないか。 介護している側の負担が大きい。介護している人こそリフレッシュが必要。 (委員) 高齢者の横のつながりを深めていくために、パークゴルフや俳句などの活動を広めていくことは有効である。

資料2

10	P8 P9	基本目標1	基本政策2	全体	病氣にかからないための予防だけではなく、要介護の状態にならないための予防という考え方も重要である。	(委員) 施策1の「健康寿命の延伸」とつながるのではないかな。
11	P8 P9	基本目標1	基本政策2	全体	高齢者が使いやすい体育施設を増やしていくなど、多くの高齢者の健康寿命を伸ばしていける環境づくりが重要である。	
12	P10 P11	基本目標1	基本政策3	全体	福祉は、高齢者や障害者などの社会的に弱い方にサービスを提供するという意味ではなく、市民全体の幸せや豊かさといった広い概念があるが、基本政策3の福祉は前者の意味で使われている印象を受ける。 また、要介護や要支援にならないようにしていくという視点も重要である。	
13	P10 P11	基本目標1	基本政策3	全体	全市的に見守り活動を行っているが、地域によって取組に温度差がある。 自分や家族の健康状態に関する知識を持つことが重要である。	
14	P10 P11	基本目標1	基本政策3	全体	人と人との支え合いによるセーフティネットも大事なことであるが、適切な「公助」も重要である。	
15	P11	基本目標1	基本政策3	施策1 施策2	施策1が公助、施策2が互助・共助に関することが述べられていると思う。 施策1は深刻な印象があるので表現を工夫する必要がある。 施策2で、高齢者の人材育成が重要と述べられているが、地域福祉は高齢者だけが担うべきものなのか疑問である。	(委員) 今後の12年間を考えたとき、高齢者を活用して地域づくりを進めていくことが重要となる。 「高齢者など」と表現されているので、高齢者をはじめ様々な人材が関わることが理解できるのではないかな。
16	P10 P11	基本目標1	基本政策3	全体	大分県では、医療や介護など地域福祉に関わる人が意見を出し合う「地域ケア会議」を設置し、高齢者が自立して暮らせる支援を充実させ、介護保険の上昇を抑制した。 このような具体的な取組を明記した方が良い。	
17	P11	基本目標1	基本政策3	施策1 1行目 必要な生活支援	「必要な生活支援」という文言を「必要な福祉支援」とした方が、印象が良くなるのではないかな。	
18	P10 P11	基本目標1	基本政策3	全体	高齢者だけではなく、若い世代にも福祉やボランティアに関心を持ってもらえるような教育も必要と考える。	
※1	P8 P9	基本目標1	基本政策2	全体	国民健康保険加入者に対する意識啓発が重要となる。	※第2部会からの意見
※2	P10 P11	基本目標1	基本政策3	全体	介護で親の面倒をみると、経済的弱者となることがあり、このことを改善できると良い。 教師などの教育関係者が退職しても何らかの形で教育に携わると子どものためになるのではないかな。	※第2部会からの意見
※3	P6 P7	基本目標1	基本政策1	全体	法律上は育児休暇の制度が整備されており、企業との連携が必要である。	※第2部会からの意見

第7回会議 第2部会論点整理表

NO.	頁	項目	小項目	該当箇所	意見	意見に対して
1	P16 P17	基本目標3	基本政策6	全体	後継者不足などを原因として、伝統、歴史ある企業が廃業しており、こういった現状を分析する必要がある。 新しい企業だけでなく、既存の地域産業を育む視点が重要。	
2	P16 P17	基本目標3	基本政策6	全体	売る側の視点として、市内、圏域、北海道から、世界へシェアを拡大する。 家具だけでなく、他の産業も「世界」に向けた視点を持つ事業者を育てていくことが必要。	
3	P16 P17	基本目標3	基本政策6	全体	総合戦略会議では、道北地域の物流基地として、地場産品等を集約、世界へ発信する役割を果たすことが必要との意見があった。	(部会長) オホーツク、道北が実際集まっている。「道北連携の強化」を産業として、強く表現してはどうか。
4	P16 P17	基本目標3	基本政策6	全体	全政策の共通意見として、現状と課題の冒頭に「プラス面」から表現するようにはどうか。 新しく旭川で起きる産業を予感させるような表現を加えてはどうか。高齢化、電力自由化、更なる情報化社会など、今後のトレンドを先取りしてアクションを行うことができるように施策の中で表現してはどうか。 総合計画の中でも旭川市の強みなどをPRするような表現。 「担い手」について、もう少しクローズアップする必要がある。	
5	P16 P17	基本目標3	基本政策6	全体	旭川市の農業は米が中心で、野菜、果樹、酪農など多種にわたっている。 6次産業化など、全国の良い事例を学び、新たな取組につなげるよう行政の協力が必要。 現段階では、その下地も出来ていないような状況であるが、民間と行政が協力して、産業について特化したプロジェクトなどを具体的に進めていくことも必要と感じている。 担い手対策等は、重要な課題である。	
6	P16 P17	基本目標3	基本政策6	全体	農業政策を語る上では、その現状と課題にTPPについて触れる必要があるではないか。 農水省の方針等にならったものだけでなく、市独自の色が出るような表現としたい。	
7	P16 P17	基本目標3	基本政策6	全体	旭川市は、条件の悪い所もあるため、なかなか難しい面がある。 市民が地場の農産物を率先して買うようにするなどのサポート策があっても良い。	
8	P16 P17	基本目標3	基本政策6	全体	市民が地場の農業をサポートするような取組などを進める考えはないか。 市民が豊作不作に関わらず、作付け前に生産者と買取量(変動)を契約するような方法もあるのではないかと。	(部会長) ワインなど、規模の小さい取組では北海道でも実績がある。 そういった意見を踏まえ、6次産業化への取組や農業の担い手が協力した取組についての表現を加えることが必要か、今後も検討してはどうか。
9	P16 P17	基本目標3	基本政策6	全体	人口減少が進む中、産地間競争が激しくなり、また、農業以外の分野との連携強化もなかなか進んでいない状況である。 自分が生まれ育った地場の農産物には、愛着、安心感が湧くものであり、安全・安心も売りにできる。	(部会長) 他産業と農林業との連携について、表現を加えてはどうか。 他町の事例ではあるが、東川町では、ふるさと納税で、サポーター制度をとっているという事例もある。

10	P16 P17	基本目標3	基本政策6	全体	北方建築総合研究所を利用して、北国の建築技術などを世界へ売り出すことができる可能性があるのではないかと。研究機関と民間、行政の連携を進め、強みを生み出す。 研究機関も企業個別に対してではなく、地域の産業につながる技術を生み出すようなチームを作って行くようにすべき。 技術の輸出につなげていくことができるのでは。	
11	P16 P17	基本目標3	基本政策6	全体	基本政策6の範囲は、かなり広いものである。この政策の主体は誰なのか、行政が関わる範囲はどこまでとすることを明確にした上で表現すべき。 具体的な事例など、ポイントをもっと施策1、2に入れ込むことが必要ではないか。 基本政策6の大部分は、民間自らの経営努力に関わるものであり、行政はそれを支援するものではないかと思うことから、この政策の主体は民間であるという意識が必要。	
12	P16 P17	基本目標3	基本政策6	全体	「資源・特性を生かした企業誘致を推進」との表現があるが、より「地場産業の活性化」をより意識した表現とし、具体的な取組につなげていく必要がある。	(部会長) 「新たな産業」の方向性については、施策2にもう少し書き込むことで検討してはどうか。
13	P18 P19	基本目標3	基本政策7	全体	基本政策7の「交通結節機能」という表現は市民にとってわかりにくいと感じることから、「様々な交通手段の接続機能の強化」などの表現としてはどうか。	
14	P18 P19	基本目標3	基本政策7	全体	施策2の「まちの機能強化」における交通体系に関する部分については、都市のインフラについて扱っている基本政策8に入れた方が良いのではないかと。 ライフラインとまちの賑わいは別にした方がよいと考える。 賑わいについては、国外から人を呼び込む施策に集中させてはどうか。 基本計画の後段にある「都市づくりの基本方策」にも関連するものである。	(事務局) 民間事業者が保有する交通機能と自動車交通には効率的な道路交通網などを機能的に活用することが重要。 まちの快適性や賑わい創出目指した様々なソフト的な取組と交通政策を一体的に進めていくことがより、「誰もが使いやすい交通体系」につながるという考えの下、基本政策7にしている。
15	P18 P19	基本目標3	基本政策7	全体	基本政策7は、広域の中での交通体系としての旭川の役割、基本政策8は、市内の中での交通体系の役割を示すものと感じている。	(事務局) 基本政策7は、まちの機能としての内容を表現しており、他の施策もそれぞれ分野毎の内容を表現している。 「都市づくりの基本方策」は、各政策を横串的に捉え、市民生活を支える都市づくりについて横断的に表現する役割としている。
16	P18 P19	基本目標3	基本政策7	全体	現状では、乗り換えなど、交通機関のつながりがわかりにくいと、高齢者や外国人にとってわかりやすい交通ネットワークの構築が必要であると感じる。	
17	P18 P19	基本目標3	基本政策7	全体	旭川市は雪国であることから、飛行場から旭川までは、札幌のように地下鉄があれば便利であると感じる。	
18	P18 P19	基本目標3	基本政策7	全体	観光地を結ぶバスや中心部を循環するバスなど、これまでもネットワーク強化に向けた取組を行ってきたようであるが、それほど乗客が多くない状況などを踏まえると、現状において足りているのではないかと判断できる。	
19	P18 P19	基本目標3	基本政策7	全体	バス停の名称の変更や多国語での音声案内など、外から訪れる人々からもわかりやすい取組をもっと進めることにより、既存の交通機関が使えるものになるのではないかと。	

20	P18 P19	基本目標3	基本政策7	全体	「放射状と環状道路網のネットワーク化の充実」が重要であり、そういった表現を入れ込んでどうか。 確かに、旭川市の公共交通は住んでいてもわかりにくいことから、一目でわかるマップのようなものもあって良いと感じる。	(事務局) 公共交通のマップもこれまで作成してきているが、アップデートがされていなかったりという面はある。最近では、スマートフォンなどで利用できるバス情報検索システムなども提供している。
21	P18 P19	基本目標3	基本政策7	全体	国外の人がスムーズに市内などを行き来できる環境の整備が必要である。	(事務局) 基本政策7のほか、「都市づくりの基本方針」において、利便性の高い交通体系の充実や交通のネットワーク化について表現している。
22	P18 P19	基本目標3	基本政策7	全体	基本政策7には、イベント、国際交流、スポーツを通じた交流については、表現に加えていく必要があるのではないか。 基本政策7との関連であるが、「都市づくりの基本方針」では土地利用、交通体系に特化してはどうかと感じている。	(事務局) 国際交流については、基本政策7や施策2の中で一定の表現は入れ込んでいる。また、スポーツに関しては、一義的には基本政策5に含めているが、スポーツを通じた国際交流や観光などについては、基本政策5と7などの横断的な取組となる。 (部会長) 施策7と8の切り分けはなかなか難しい。
23	P18 P19	基本目標3	基本政策7	全体	移住・定住についての考えはどこに含んでいるのか。	(事務局) まちの賑わいの創出や交流などの観点から、基本政策7に含む考えであるが、本日お示ししている原案としては、移住・定住という言葉そのものでは表現していない。また、移住・定住に関する程度、政策を横断した取組が必要になると考えている。
24	P20 P21	基本目標4	基本政策8	現状と課題	現状と課題の「市街化区域が広がってきたため、」の表現については、その原因の一つとして、行政側の計画などにもよることから、「市街化区域が広がったことから、」と修正した方が良いと考える。	
25	P20 P21	基本目標4	全体		旭川市は、外に向かってPRしたり、発信していくという姿勢がやや足りないのではないかと。	(事務局) 情報の発信に関することについては、若手の産業人をはじめ、多くの市民から意見をいただいているところである。次期計画にも必要な視点であると考えており、随所に意識して盛り込んでいる。
26	P20 P21	基本目標4	基本政策8	全体	「暮らしやすい快適な都市の構築」について、交通を抜きにして語ることはできないのではないか。交通については他の政策で触れられている部分であるのかも知れないが、基本政策8に記述が全くないことに疑問を抱く人も多いのではないかと。	
27	P20 P21	基本目標4	基本政策8	全体	上下水道や情報通信基盤の整備などは、基本政策8の背骨になってくる部分であると思うので、そのことについても記載した方が良いのではないかと。また、空港も含めて、物流の拠点であるということも盛り込んだ方が良いのではないかと。	
28	P20 P21	基本目標4	基本政策8	全体	旭川の場合は、自然が、暮らしやすく快適な都市をつくってくれている。地球の温暖化が進む中、旭川は夏でも朝晩は涼しく、人間が住むのには最も良い環境なのではないかと思う。その部分をもっとアピールしてはどうか。	
29	P20 P21	基本目標4	基本政策8	全体	自然エネルギーをはじめとするエネルギーの問題について具体的な記述がない。	(事務局) 基本政策9に記載している。

30	P20 P21	基本目標4	基本政策8	全体	基本政策8には、住宅政策、都市公園の緑化、河川環境など、都市の環境に関する内容を盛り込んでどうか。	
31	P32 P33	都市づくりの基本方針		全体	記述が具体的であり、興味深い内容であるため、構成として、もっと前半に持っていった方が良いのではないか。	(事務局) 構成については、内部でも協議を行った結果、この位置に落ち着いたものである。
※1	P24 P25	基本目標4	基本政策10	全体	旭川は歩道が暗いというイメージがあり、自転車や歩行者に危険であると感じることから、安全の確保の面からの対策が必要ではないか。	※第1部会からの意見